

西 宮 中 学 校

学校図書館で学びを深め、未来を広げよう

今の学校図書館

インターネットの普及とともに、社会全体の読書への興味・関心が薄れつつある。だからこそ、中学生のうちに図書資料のメリットについて理解してほしい。また他のメディアについても、長所短所を理解して利用できるよう、支援を行っている。

学校図書館の運営

・読書センター・学習センター・情報センターを意識した授業支援を行う。

・選書

- ①難易度・内容とも多様性を持たせる。
- ②教科横断・連携型の図書を増やす。
- ③蔵書のバランスを整える。

・情報リテラシー能力の育成

・著作権を含む知的財産権についての意識向上

1年間の主な活動

通年:授業支援、授業への資料提供

図書館だよりの発行(司書毎月、図書委員年6回)

テーマ展示(毎月1〜3テーマ)

学級文庫貸出

・4月:図書館オリエンテーション

1年生「図書館の使い方」

2年生「検索能力を上げよう」

3年生「信頼できる情報とは？」

・6月:杉並区子ども読書月間標語応募(図書委員)

・8月:蔵書点検(司書、ボランティア)

・2学期:高井戸第二小学校、松庵小学校との連携活動
「読書ゆうびん」(図書委員)

・11月:給食、放送とのコラボレーション

・12月:読書月間

アドベントカレンダー

図書委員イベント

「読書ゆうびん」展示

・1月:新年イベント

・2〜3月次年度計画作成

図書委員のイベント

「図書館人狼ゲーム」の様子



特色ある取組

以下の授業の支援を図書館で行い、関連図書の展示も行っている。

・ビブリオバトル

全学年で実施。グランドチャンピオン大会あり。

・POP作成

1年生。作成の前に教員と司書で本の紹介を行う。

・杉並区「本の帯アイデア賞」

2年生。

・調べる学習コンクール

2年生

・杉並区「いのちの教育読書感想文コンクール」。

2年生

1年生のPOP作品



図書館での授業の様子



これからの学校図書館

・様々なメディアの特徴を理解し、信頼性を判断する力は、これからさらに重要になってくる。図書館としてもサポートしていきたい。

・情報源、娯楽としてだけでなく、内面の成長を促すような読書のあり方を提示していきたい。

・活気のある場、心安らげる場となるよう環境整備を心掛ける。

・誰もが読書できる「読書バリアフリー」を目標に、読書の障壁となるものをなくしていく。